

特集4 「暮らしのガイドブック」発行費用について

「暮らしのガイドブック」は、行政の手続きなど、市民の皆様の生活に関わる情報をお伝えすることにも、勝山市の名所や歴史などを勝山市民の皆さまに知っていただくため毎年作成し配布されています。平成23年度版の発行については、行財政改革の視点を踏まえ、市内業者を中心とした広告費用で賄う方法をとりました。

議会では経費の削減の一方で、市内業者の負担が大きくなっていないか、広告料の額が大きくなっていないかなど議論がありました。

この広告料による発行の方式は2年に1度の隔年での予定であり、24年度については従前のように市の予算で発行されます。

平成25年度以降の発行をどのような方式にするかについては今年度、議会でも議論を重ね、適正な方法を検討してまいります。

特集5 市内の産業（農・商・工）の振興について

勝山市の活性化を図るためには、雇用の場を確保するためにも産業（農・商・工）の振興が不可欠です。

そのため、市ではこれまで農工商連携を意識した「ものづくり技術・研究開発支援事業」や「かつやま逸品開発・販路開拓事業」を実施し、さらに24年度からは「勝山おろしそばブランド化推進事業」を実施します。

議会では、市が農工商連携事業や産業化につながる事業の芽の発掘を行い、起業の促進を図ること、田地の40%近くが中山間地や市街地内農地であり、これらは国・県の農地集積施策の恩恵を受けにくいことから、市農業公社の拡充を行って勝山型農業の振興を図ること等、市内の産業の振興施策の充実を強く求めました。



勝ち山おろしそば観光特使に就任された中尾彬、池波志乃ご夫妻



商標登録申請中の「勝ち山おろしそば」を堪能していただきました

特集6 中学校へのエアコン設置について

昨今の暑い夏に対処するため、以前からの要望であったエアコンを平成24年度中に全中学校の普通教室に設置します。小学校については安心・安全な学校環境を実現するため、平成24年度から25年度にかけて、成器西小学校北校舎、成器南小学校北校舎の2棟に耐震化をする予定です。また、耐震化工事に合わせて、省エネ改修としてペアガラス・断熱材などの工事とエアコン取り付け工事も同時に行います。

その他の小学校については、26年度以降順次取り付ける予定です。

議会では、大口契約の電気代はピーク時の電気使用量を基本とするため、電気使用量のピークを抑える方策について質問がありました。

市では、各学校内で稼働時間をずらす工夫等を検討しているということでした。

議会からは、空調設備については電気だけでなくガスや夜間電力等の利用も提案しました。